

Kanon

カノン

発行:2019.1.10

2019年 年頭挨拶

皆様 明けましておめでとうございます。

昨年4月より理事長を務めさせていただき約8ヶ月が過ぎました。

この8ヶ月間は神奈川県立音楽堂が改修工事期間にあたり、県連の全ての行事を音楽堂以外で行わなければならないという大変な年でした。各実行委員さんは使い慣れた音楽堂とは勝手の違う会場で、下見を何回も重ねるなど入念に準備を進められ、当日スタッフの皆様も様々な事に気を遣い運営して下さいました。お蔭様でどの行事の運営もほぼタイムテーブル通り、事故もなく全て予定通りに進められてきております。実行委員・スタッフの皆様には幾重にも感謝申し上げなければならないと思っております。

それぞれの行事に参加された合唱団の皆様も、違った会場での経験を活かしていただけののではないのでしょうか。

今年4月の「おかあさんコーラス県大会」までは音楽堂以外の会場で、6月の「神奈川県合唱祭」からは再び音楽堂で開催いたします。使い慣れた音楽堂のありがたみを強く感じた1年でした。音楽堂は以前より少し使い良くなるようですので、期待したいと思います。

今年は例年の県の行事以外に、7月に「おかあさんコーラス関東支部大会」を神奈川県合唱連盟が主管いたします。会場はよこすか芸術劇場です。出演される皆様だけでなく、多くの皆様に聴きにきていただきたくお願い申し上げます。

今年、一年が平和で音楽（合唱）文化が豊かな年でありますようお願い、年頭の挨拶といたします。



神奈川県合唱連盟理事長 志澤 彰



第24回 ヴィサン《人生百歳》

ジョイント・コーラスフェスティバル in よこはま



2018年11月8日(木) さわやかな秋空の下、横浜みなとみらいホール 大ホールにて第24回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバルが開催されました。講師には声楽家の青山恵子先生、ピアニストの小原孝先生をお招きし、講評とエフォル賞(講師賞)の選考をお願い致しました。平均年齢60歳以上の合唱団33団体(県内31・県外2団体)が参加、A・Bブロックに分かれ、色とりどりの衣装、華麗なパフォーマンス、素敵な歌声をホールいっぱい響かせて下さいました。今回エフォル賞を受賞した団体は8団体、サンク賞(参加5回)2団体、バンブー賞(参加15回)3団体でした。90歳以上の参加者10名に(最高齢97歳)連盟から記念品を舞台上で一人一人にお渡しし、そのお元気な姿に、会場から大きな歓声と拍手が贈られました。各ブロックに設けた歌声タイムでは、唱歌や懐メロを出演者だけでなく聴きにいらしたお客様も一緒に歌っていただきました。協賛のカンロ株式会社様からたくさん提供して頂いた新商品の飴やグミをかけた「じゃんけん大会」で会場のテンションはMAXに!ヴィサンのテーマソング『歌があるから』を出演者、お客様にスタッフも加わって大合唱し、幕となりました。

来年の開催日は2019年11月7日(木) たくさんのご参加をお待ちしております。

ヴィサン実行委員長 杉山 範雄

突撃インタビュー!

☆初出場ボカ・グランデ

* 出場を決められたのは?

「しばらくステージの予定がなく、気がつけば団員の平均年齢もそれなりに高くなり、ヴィサンの出場資格もクリアしていましたので出場を決め、申し込みました。

ちょうど対照的な2曲を仕上げていましたので、皆さんに聴いてもらう発表の場として参加することができて良かったです。」

☆ブルースカイ

* 今回、第24回のヴィサンに24回目の出場をされました。

「最高齢の方は97歳です。団創設後まもなくの入団で、とてもお元気で、練習もちゃんと参加されていて、皆の目標になっています。

団員数は少し減ってはいますが、ヴィサンや藤沢の合唱祭を年間の活動にしています。

「本日も楽しく歌わせていただきます。」

(とても97歳には見えない若々しさでした)

☆男声コーラス“ひよこ”

* 今年は15回目の出場でバンブー賞を受賞されます。

「平均年齢は82歳くらいですね。90歳の団員もいます。それは元気でベースのエースです。」

(なるほどしゃきっとされていて、姿勢も素晴らしくて感心しました)



名前のない合唱団&ザ・リタイアリーズ



小原先生・青山先生



ヴィサン実行委員



第24回ヴィサン 表彰団体



エフォル賞(講師賞)

- ◆ボカ・グランデ ◆じゃおグリークラブ
- ◆おたまじゃくしの会
- ◆一般財団法人ライフ・プランニング・センター『新老人の会』
コールバンドナ&コール・アマカ
- ◆男声合唱団フロイデ ◆しほみコール
- ◆フリューゲル70s ◆せやあじさいコーラス

バンブー賞(参加15回)

- ◆男声合唱団ひびき ◆福女こら合唱団
- ◆男声コーラス“ひよこ”

サンク賞(参加5回)

- ◆じゃおグリークラブ
- ◆名前のない合唱団&ザ・リタイアリーズ

第73回 関東合唱コンクール

(第71回 全日本合唱コンクール関東支部大会)

第73回関東合唱コンクールは、9月22日(土)に高等学校部門、23日(日)に中学校部門がコラニー文化ホール(山梨)にて、10月21日(日)に大学職場一般部門が宇都宮市民文化会館(栃木)にて開催されました。

大学職場一般部門の全体講評では「長い時間をかけて同じメンバーで練習を重ねて、そこにしかない音、自分たちの音を創り上げるのが大事なのではないか。信頼関係がいい響きをもたらす。本番では時に限界を超えたものができることがあるが、それは毎日基本の練習を積み重ねることによって生まれる」というお話がありました。

神奈川県からの出場団体はそれぞれに練習の成果を発揮し、個性あふれる演奏を披露して観客を魅了しました。審査結果は以下の通りです。

中学校・高等学校部門

日程：2018年 9月22日(土) 高等学校部門
2018年 9月23日(日) 中学校部門
会場：コラニー文化ホール(山梨)

本県代表団体の審査結果(賞ごとに出演順)

【高等学校部門 Aグループ】

- 金賞 日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ
清泉女学院高等学校音楽部(代表)
- 銀賞 神奈川県立横浜高等学校女声合唱団
- 銅賞 県立多摩高等学校合唱部

【高等学校部門 Bグループ】

- 銀賞 桐光学園高等学校合唱部
- 銅賞 県立湘南高校合唱部

【中学校部門 同声合唱の部】

- 金賞 清泉女学院中学校音楽部(代表) [関東支部長賞受賞]
- 銅賞 相模原市立共和中学校

【中学校部門 混声合唱の部】

- 銀賞 横浜国立大学教育学部附属鎌倉中学校
- 銅賞 海老名市立海西中学校合唱部

大学職場一般部門

日程：2018年 10月21日(日)
大学職場一般部門
会場：宇都宮市民文化会館(栃木)

本県代表団体の審査結果(賞ごとに出演順)

【大学職場一般部門・大学ユース合唱の部】

- 金賞 湘南ユースクワイア
- 銀賞 横浜国立大学グリークラブ

【大学職場一般部門・室内合唱の部】

- 銀賞 TAMA STAR SINGERS

【大学職場一般部門・同声合唱の部】

- 金賞 湘南はまゆう(代表)
La Pura Fuente(代表)

【大学職場一般部門・混声合唱の部】

- 金賞 合唱団 やえ山組(代表) [関東支部長賞受賞]



☆全日本理事長賞
合唱団 やえ山組

コンクール関東大会表彰式 一般部門

第71回 全日本合唱コンクール全国大会

第71回全日本合唱コンクール全国大会は、10月27日（土）に高等学校部門、28日（日）に中学校部門が長野県民文化会館ホクト文化ホールにて、11月24日（土）25日（日）に大学職場一般部門が札幌コンサートホール Kitara にて開催されました。

神奈川県から出場した団体はそれぞれに実力を発揮し、素晴らしい成績を収められました。出場団体の審査結果は以下の通りです。

中学校・高等学校部門

日 程：2018年10月27日（土） 高等学校部門
2018年10月28日（日） 中学校部門
会 場：長野県民文化会館ホクト文化ホール

本県から出場した団体の審査結果

【高等学校部門 A グループ】

金賞 清泉女学院高等学校音楽部 ※文部科学大臣賞受賞

【中学校部門 同声合唱の部】

金賞 清泉女学院中学校音楽部

大学職場一般部門

日 程：2018年11月24日（土） 大学職場一般部門
2018年11月25日（日） 大学職場一般部門
会 場：札幌コンサートホール Kitara

本県から出場した団体の審査結果

【大学職場一般部門 同声合唱の部】

金賞 La Pura Fuente ※北海道教育委員会教育長賞受賞

銅賞 湘南はまゆう

【大学職場一般部門 混声合唱の部】

金賞 合唱団 やえ山組 ※北海道知事賞受賞

清泉ファミリー、全国大会でトリプル金賞

中高揃って全国大会へ！と中学生40人、高校生26人が練習を始めて半年、文化祭と重なり大忙しの関東大会を乗り切り、ついに10月27日、ハナミズキやカエデの紅葉が美しいホクト文化ホールの前に到着しました。長野県には同じ制服を着用している姉妹校の長野清泉女学院があり、まずは公式訪問。

シスターや先生方に温かなお言葉をいただき、広い練習場もお借りでき、生徒達は多くの人に支えられていることを実感する貴重な時間を過ごしました。

今年度の高校生の自由曲は、ハンガリーの新進作曲家 Levente Gyöngyösi の“Convertere, anima mea”（我が魂よ 再び）と、Javier Busto 作曲 “Ave Maria gratia plena” です。旧約聖書の詩篇の世界、「嘆きと苦しみ」の激情から、「神への信頼」への変化する中、Alleluia の歌詞に世界の平和への祈りを込めて歌い上げたところ、何と文部科学大臣賞を受賞。表彰式では大きな歓声があがりました。



中学生は、2年前に上級生が初演した組曲《地球歳時記 vol.13 夢の木》より3rd sceneを選び、世界の子供達の未来に向かう「夢と希望」を日本語と英語を織り交ぜながら歌いました。2群で、BやHの高音がクライマックスに続く曲なのでコンクールには不向きと取り残されていた曲、ついに組曲3曲すべて全国の皆様に聴いていただけることとなり、高校生共々、喜びを分かち合ったという次第です。今年9月には、CD《地球歳時記》がリリースされましたので、皆様に聴いていただければ幸いです。善光寺の真っ暗なお戒壇廻りや高瀬渓谷の大揺れの吊橋でも大絶叫、音楽部らしい《よく通る声》を各所であげた3日間でした。

全国大会の晴れの舞台で中学、高校そしてOGの三団体が、清泉サウンドを響かせることができましたことが最高の喜び。さらに合唱連盟の方々と神奈川県の皆様の応援をいただきまして、トリプル金賞、文部科学大臣賞と北海道知事賞を賜ることができましたことを、心より御礼申し上げます。

清泉女学院中学高等学校音楽部 佐藤 美紀子



今年は5年連続5回目の全国大会出場となり、同声合唱部門において金賞、並びに北海道教育委員会教育長賞をいただくことができました。

今年の自由曲は、「幻の風・光の海 地球歳時記 '95」より「3rd Scene」。この曲では、音楽を通して生命体としての地球への思いが表現されており、大自然溢れる北海道の地で迎えた本番は、曲に込められた想いや、曲の描く自然の情景がより鮮やかに感じられるひとときとなりました。

La Pura Fuente は来年で、結成から10年を迎えます。年々団員の数も増え、今年のコンクールは約40人での参加となりました。様々な経験を培ってきたメンバーが集まることで、私たちの「清泉サウンド」をより鮮やかに進化させていけたらと思います。

最後となりますが、神奈川県合唱連盟の皆様、家族、関係者の皆様には本当にあたたかい応援と励ましを頂きましたこと、心より御礼申し上げます。

La Pura Fuente 吉田 裕香



今年の全国大会出場は、本当に「奇跡の復活」でした。いろいろな事情で大切なメンバーが何人も減ってしまうなど試練のスタートでしたが、今できることをひとつずつやるしかないところこつ練習を重ねてきました。



自分たちの心が動かないものは伝わらないと、自由曲に選んだ与謝野晶子のテキストにも様々なアプローチしました。若い合唱団の声の輝きには到底及びませんが、長い間培ってきた自分たちの音色や、曲への共感が少しでも伝わったのであればとても嬉しいことです。雪の札幌、Kitara ホールでは今までやってきたことをのびのびと歌うことができました。全国の素晴らしい演奏に触れ、たくさんの刺激を受けました。年齢を重ねたからこそ表現できるものを見つける喜び、一緒に歌う仲間との時間はかけがえないものです。これからも息長く歌い続けていきたいと思っています。

湘南はまゆう 青山 道代

組長のお誘いで組に入ったのが5月。当初は少々馴染めず、関東も力を出せず、このまま居続けて良いか悶々としていました。そんな思いをよそにあれよという間に全国へ。組員が一気に北海道に集結、先生の熱い指導で濃い時間を共にするうちに、Sopとしてそこで皆と一緒に歌うことに居心地の良さを覚えました。やえ山のすごい所は何かしら長けている人がいることで、例えば当日は凄腕体操のお兄さんが現れ、場が和みました。頼もしいパトリの「歌心120%のやえ山sopをみせて!」のメッセージも私の気持ちを吹っ切れさせてくれました。

本番は、個人的にはようやく曲に入り込めてきたところだったので悔しさも残りましたが、結果は金賞! 知らせを受け、帰路にいた私にもじんわり満足感が広がりました。

した。夏秋と健康管理や時間管理に苦勞し悩み多き時期でしたが、組員の皆に力をもらい乗り越えられ感謝です。今後も一組員として歌いたいと思えた2日間でした。

合唱団 やえ山組 武藤 聡里



長野県県民文化会館
ホクト文化ホール



札幌コンサートホール
Kitara

第53回クリスマス音楽会 「メサイア」全曲演奏会

神奈川県立音楽堂 第53回クリスマス音楽会「メサイア」全曲演奏会が、2018年12月8日(土)に開催されました。この演奏会は、1966年から50年以上続く伝統の演奏会として、これまで途絶えることなく、その歴史をクリスマスの時期に刻んできました。今回は、音楽堂の改修にともない、相模原スペシャルコンサート2018として、相模女子大学グリーンホール 大ホールにおいて、素晴らしい演奏会となりました。

神奈川県合唱連盟加盟団体の合唱団員70名に加え、音楽堂「メサイア」未来プロジェクト合唱団として、県立光陵高等学校、県立逗子高等学校、県立多摩高等学校、相模原中等教育学校、法政大学第二高等学校のメンバー64名、そして今年は、未来プロジェクト卒業生が21名の、総勢155人の合唱がホールに響き渡りました。

未来プロジェクトの練習には、地元音楽大学(今年度は昭和音楽大学)の紹介で、声楽アシスタントとして、現役の歌手の方に高校生の指導をしてもらっています。特に今年は、実際に範唱をしてもらうなど、とても勉強になりました。アシスタントをつとめてくれました、石岡幸恵さん、杉山沙織さん、工藤翔陽さん、山下友輔さん、ありがとうございました。

来年は音楽堂に帰り、12月15日(日)に、第54回目のメサイアが、小泉ひろし先生の指揮で予定されています。年々上手になっているメサイア、今年来られなかった方も、是非お越しください。

メサイア副実行委員長 岩本 達明

出演者

指揮	小泉 ひろし
ソプラノ	山口 清子
カウンターテナー	彌勒 忠史
テノール	中嶋 克彦
バリトン	青山 貴
チェンバロ	長久 真実子
オルガン	宇内 千晴

合唱指揮	志澤 彰
合唱	神奈川県合唱連盟・「メサイア未来プロジェクト」高校生
管弦楽	神奈川フィルハーモニー管弦楽団

*メサイア未来プロジェクト参加：
県立光陵高等学校、県立逗子高等学校、県立多摩高等学校、
相模原中等教育学校、法政大学第二高等学校



© 青柳聡

メサイア練習取材

2018.12.3 神奈川県民ホール 小ホール

◆本番前最後の合同練習にお邪魔しました

受付を済ませ軽食をとりながら練習を待つ女性。17回目の参加とのこと、毎年楽しみにしていて、違う合唱団のお友達も増えたそうです。80代という方は13回目。歌い続けるために筋トレをしてカーブスにも水泳にも通っているとのこと、みなさんいきいきとされていて笑顔が素敵でした。

練習の合間におじさまが近くの高校生たちに何事か熱く語る姿も。それを熱心に聞いている高校生の真剣なまなざしが印象的でした。

小泉先生は終始喜びを柔らかく軽やかに表現するよう指導されていました。軽やかな身のこなし、動きすぎて暑くなるほどの熱心さに思わず引き込まれました。



熱のこもった練習風景

◆「メサイア未来プロジェクト」参加の高校生に聞きました

Q 1. 今年で何回目？

- ・2回目です。昨年は正しい音程・リズムなど歌うことに必死でした。今年は「メサイア」のストーリーや曲の背景、ニュアンスを伝えようとするまで考えられながら歌っています。
- ・1年目はかけ抜けた、集中力が最後まで続かないことが多かった。

Q 2. 練習で得られたこと、または実践したことは？

- ・前年度は大きい声で歌って導いてくれた先輩方の存在がありがたく、今年は自分たちもその存在になれるように歌いました！
- ・普段女声合唱なので、男声が入った時の支えや厚みが感じられるのが面白い。

Q 3. 一番大変なのは？

- ・曲数が多く、進むごとに展開していくストーリーを表現することが難しい。
- ・フレーズごとに表情の変化をつけること。
- ・“Gloria”の“gl”など、二重子音をはっきり発音すること。でもこの意識が普段の活動で外国語曲を扱う時に活かされます！
- ・普段歌わない技法のため、メリスマが大変…(多数)
- ・最後まで集中力を保つことが難しい。
- ・英語のアクセントと音程が対応しているわけではないので処理が大変。
- ・指揮者と楽譜を交互に見る、また楽譜が地味に重く、肩や首が凝る(笑)

メサイアに参加した感想

◆県立相模原中等教育学校

2回目の参加で、以前より歌詞の意味をよく考えて歌えるようになりました。メリスマの具体的な練習方法など、昨年度よりもさらに細かい部分に関する指導も多く、より良い演奏にすることができたと感じています。夏からの練習を通じて他校の合唱部や大人の合唱団の方と交流をすることで、合唱に対する良い刺激も受けることができました。

普段は部員10名で女声合唱曲を歌っているのですが、大勢で混声合唱の練習をするのが新鮮で楽しかったです。オーケストラやソリストの方々と同じステージに立てる、大変貴重な経験をさせていただきました。

◆県立多摩高等学校

練習開始当初は弱音を吐く部員もいましたが、練習が進んでいくにつれて、メサイアの魅力に気づき始め、部の全員がこの曲の虜になっていきました。また小泉先生のご指導では、メサイアの一曲一曲に込められた魅力や背景などを教えて下さったので、メサイアへの理解度も高まりました。本番では少々の緊張はあったものの、歌い続けることができ、お客様に感動していただける演奏ができたと思っています。他校の皆さんと交流できるいい機会でしたし、大人の方々とオーケストラと共に演奏することはなかなかできないことなので、貴重な経験を本当にありがとうございました。

リレーエッセイ No.23 指揮者の『ここだけの話』



指揮者だからこそ味わえる・・・味わってしまうおもしろエピソードを
リレー形式で書いていただく人気のコーナー。今回は 伊東 恵司 先生です。

私の師匠～指揮者 福永陽一郎

1989年12月、私は学生指揮者として同志社グリークラブの定期演奏会の舞台に立っていました。福永陽一郎と私たちとの最後の演奏（翌年2月に急死）となった思い出深い舞台です。それを客席で見ていた一人の中学生がいたのですが、学校でトランペットを吹いていた彼は、福永陽一郎の指揮する「岬の墓」の演奏を聴いて自身の音楽人生が開けていくのを感じました。しかしそれ以上の衝撃として、隣の客席で号泣する大人がいたのを見て、その姿が「ある種の尊い人生の謎…」のようなものとして引っかかっていたそうです。何が突き動かしたのか…、演奏中に泣くということはどういう心境なのか、という問いが胸を離れなかったということでした。…それから25年後、当時の中学生は予感どおり音楽家になっており、偶然が重なって実に25年ぶりに同志社グリークラブの演奏会に足を運んでいました。今度は福永陽一郎ではなく、私が「帆を上げよ高く（信長貴富／みなづきみのり）」という委嘱新曲を指揮していたのですが、その2曲目で「不意にあふれた涙を堪えきれなかった」と、伝えに来てくれたのです。ちょうど25年前に隣席に座っていた大人のように…。

「みなづきみのり」は私が作詞をするときのペンネームですが、2曲目は私の大好きな福永陽一郎

との思い出を一般的な語句に変容させながら語ったテキストでした。拙い演奏だったはずですが、そのことを読み取られたのでしょうか。かつての中学生とは福永陽一郎のお孫さんで、今は音楽家になっておられる小久保大輔さんでした。このときほど、音楽が取り結ぶ縁を感じたことはありません。

幾度も藤沢のご自宅をお訪ねし、藤沢市民会館に足を運んだものです。私が指揮者としての活動をしているエネルギーの全ては福永先生からいただいたものです。時空を越えた引き合わせも含めて、いまだに未熟な舞台を全て見られていて、その度に音楽とは、演奏とは、人間とは、と教えられている気もいたします。

いとう けいし



次回は小久保 大輔先生にお願いしました。

～はじめまして～ 県連新加盟団体

今年度、合唱連盟に加盟された合唱団のご紹介コーナーです

桐蔭学園小学部合唱団



桐蔭学園小学部合唱団は、昨年度4月に発足した新しい合唱団です。4年生から6年生の歌が好きな児童が集まって週に1回～3回放課後の時間を使って楽しく、そして真剣に活動に取り組んでいます。

合唱団では、「一人一人が輝ける合唱団」という目標を掲げています。この目標は、団員はみんなが平等であり全員が輝いてこそ素敵な合唱を作り出せるという子どもたちの意見で決まりました。

「輝けるためにはどうしたらいいか？」

一人一人が輝くためには様々な要素が大きく関わってきます。「練習時間を確保する」「小さな努力を続ける」「仲間と助け合う」「集中力を高める」「出来ないことから逃げ出さない」

「輝く」というキーワードをもとに、合唱を通して人としても成長し、学校生活そして合唱団の活動がより豊かになるように精進していきます。

岩井 智宏

オラトリオ・ガブリエル合唱団

皆さまこんにちは。私たちオラトリオ・ガブリエル合唱団は、2016年11月より横浜地区で活動を始めました。声楽家・指揮者である雨谷善之先生のご指導のもと、「楽しく真剣に、本物の音楽を」をモットーに日々練習に励んでいます。

声楽家として活動する先生方を各パートにお迎えして声を頼りに練習したり、英語の先生に歌詞の発音をご指導頂いたり、毎回充実した練習を重ねています。活動自体が安定してきたことをきっかけに、他の合唱団の活動もぜひ拝見させていただきたいという声からメンバーも上がって参りましたので、この度、神奈川県合唱連盟へ加盟させて頂くこととなりました。

2019年4月13日に公演を控え、2018年11

月には合宿集中練習を行いました。4月の公演当日は、オーケストラと一緒に演奏となります。普段はピアノの先生に伴奏を弾いていただきながらの練習ですが、オーケストラとの演奏もとても楽しみにしています。



県連からのお知らせ

～2019年度のイベントについて～

2019年度のトピックス

- ◆ 6月の合唱祭から、神奈川県立音楽堂で開催できるようになります
- ◆ おかあさんコーラスの関東支部大会を神奈川県が主管します（推薦団体数も+5団体に）
- ◆ 県のアンコンが変わります（開催日数が2日間に。その他開催要項の変更を検討中）

第42回全日本おかあさんコーラス 神奈川県大会

2019年4月20日(土)

やまと芸術文化ホール(2018年度と同じ会場です)

※7月の関東支部大会を神奈川県連が主管しますので、
関東への推薦団体数が5団体増えて14団体になります。
チャンスが広がるこの機会にぜひ関東大会へ！

第62回神奈川県合唱祭(4日間)

2019年6月 8日(土)・9日(日)

22日(土)・23日(日)

神奈川県立音楽堂

※改修された県立音楽堂での開催です。音響とたたずま
いはそのままに、安全に使えるよう舞台設備の他、外壁、
空調や電気設備などが改修されます。

第42回全日本おかあさんコーラス 関東支部大会

2019年7月 6日(土)・7日(日)

よこすか芸術劇場

※神奈川県連が主管します。関東各県から推薦された約
90団体が全国大会を目指して演奏を競います。洗練さ
れた歌声あり、楽しいパフォーマンスあり、出演されな
い方々も是非聴きにいらしてください！

第62回神奈川県合唱コンクール

2019年8月18日(日)・20日(火)

神奈川県立音楽堂(※会場の都合で、間が1日空きます)

※部門はつぎのとおりです。

- ・8月18日(日)：中学校部門、大学職場一般部門
- ・8月20日(火)：高等学校部門

第25回ヴィサン《人生百歳》 ジョイント・コーラスフェスティバル

2019年11月7日(木)

横浜みなとみらいホール 大ホール

第54回メサイア演奏会 (主催：県立音楽堂、協力：神奈川県合唱連盟)

2019年12月15日(日)

神奈川県立音楽堂

第22回かながわヴォーカル アンサンブルコンテスト

2020年1月11日(土)・12日(日)

やまと芸術文化ホール

※2日間開催に拡大！抽選がなくなり、たくさんの合唱団
が参加できます。

※部門の区分、関東大会への推薦方法などを検討中です。

カノンコンサートガイド

2019 年 1/26 (土)	愛川混声合唱団 第 10 回定期演奏会 14:00 ~ 愛川町文化会館ホール 入場料: 500 円 高校生以下無料 (全席自由) お問合せ: 中村 046-286-7075 ふるさと感じる歌から N コン課題曲まで幅広く歌います。特別出演のマリンバ演奏もお楽しみください!
2/10 (日)	横浜混声合唱団 三三七拍子合唱コンサート⑧ 創立 70 周年記念「We are The YOKOKON」 14:00 ~ 横浜 関内ホール 入場料: 2,000 円 (自由定員制) お問合せ: 金野 (こんの) 045-752-5915 http://yokokon.jimdo.com/ 指揮: 吉田 孝古磨 ピアノ: 須江 太郎 ~これが“横浜”だ~ 70 年の歩みの中から選りすぐりの演目を…
2/11 (月・祝)	日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ 第 49 回定期演奏会 13:30 ~ 日本女子大学西生田成瀬記念講堂 大ホール 入場料: 無料 お問合せ: 梶田由紀子 044-952-6711 指揮: 丸山 恵子 「肖像」「花火ひらく…」 鈴木 輝昭作曲、「光のとおり道」から数曲 三善 晃作曲 他
3/10 (日)	グロリア少年合唱団 聖堂演奏会 18:00 ~ カトリック雪ノ下教会聖堂 入場料: 2,500 円 (全席自由) お問合せ: 松村 045-825-0522 https://www.gloriaboychoir.com/ 今春イタリア・アッシジへの再訪を前に、一足早く聖堂に響くボーイソプラノをお届けします。
3/17 (日)	相模原市少年少女合唱団 第 52 回定期演奏会 13:30 ~ 相模原市民会館ホール 入場料: 無料 お問合せ: 市立青少年学習センター 042-751-0091 http://www.007.upp.so-net.ne.jp/hibikeutagoe/ 小学生~高校生の団員が 52 年目の歴史を感じながら、心を合わせ、日頃の練習の成果を明るく歌います。
3/20 (水)	県立湘南高校合唱部 春の定期演奏会 18:30 ~ 鎌倉芸術館 小ホール 入場料: 無料 お問合せ: 0466-26-4151 組曲『天使のいる構図』、『鼠たちの伝説』(抜粋)、首藤 健太郎委嘱作品他、幅広いジャンルを演奏します。
3/24 (日)	法政大学第二中・高等学校合唱部 第 3 回定期演奏会 15:00 ~ 法政大学第二中・高等学校木月ホール 入場料: 無料 (全席自由) お問合せ: 新井 英樹 044-711-4327 創部 3 年目の合唱部です。今回は、3 年間活動した 3 年生の卒業演奏会となります。ぜひお越し下さい。
4/7 (日)	神奈川学園中学・高等学校女声合唱団 第 26 回定期演奏会 15:00 ~ よこすか芸術劇場 大劇場 入場料: 無料 (整理券必要) お問合せ: 川合 045-311-2961 e-mail: m-kawai@kanagawa-kgs.ac.jp 指揮: 川合 美奈子 ピアノ: 加藤 亜祐美 高久 智子 三善 晃作品集、ミュージカル「クレイジー・フォーユー」他
4/13 (土)	オラトリオ・ガブリエル合唱団 明日への祈り さようなら平成 2019 14:00 ~ 横浜市磯子公会堂 入場料: 前売・当日共 800 円 お問合せ: 門脇 恵子 090-3806-8411 当合唱団指導者である雨谷 善之が音楽監督を務めるオーケストラの伴奏で J. ラターのレクイエムを歌います。
4/14 (日)	横浜ルミナス・コール 第 18 回定期演奏会 14:00 ~ 戸塚区民文化センター さくらプラザホール 入場料: 1,000 円 お問合せ: http://luminous.la.coocan.jp/ E-mail: yokohama.luminous.chor@gmail.com 指揮: 小久保 大輔 ピアノ: 清水 新 三善 晃「木とともに 人とともに」他
4/29 (月・祝)	クール・ヴァロア 第 19 回定期演奏会 14:00 ~ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料: 1,000 円 (全席指定) お問合せ: 白鳥 045-423-9502 shirayumi102@gmail.com 指揮: 中村 皇 A.Vivaldi「Gloria」女声版 森山 至貴「おてんきのうた?」 木下 牧子「自然と愛と孤独と」他

県連からのお知らせ <被災地の合唱活動復興のための義援金について>

神奈川県合唱連盟では、2016年の熊本地震により被害にあわれた皆様を支援するとともに、特に被災地の合唱活動復興のための義援金の募集をいたします。お寄せいただきました義援金は、全日本合唱連盟の「被災地の合唱活動復興のための義援金」に寄託します。皆様のあたたかいご協力をお願い申し上げます。

【郵便振込】口座記号・番号：00200-8-100874 加入者名：神奈川県合唱連盟

※領収書の発行はできません。また義援金への募金は税法上の寄付控除の対象とはなりませんのでご注意ください。

☆コンサートガイド掲載要綱☆

◆ 無料掲載：「コンサートガイド」県連加盟団体のコンサートのお知らせです。

県連ホームページより申込み用紙をダウンロードしてご利用ください。

①合唱団名 ②演奏会名称 ③開催日時 ④会場 ⑤入場料等 ⑥問合せ連絡先 ⑦コメント(50字以内)の項目を記入の上、メール、Faxまたは郵送にて編集部までお申し込み下さい。無料掲載は演奏会1件につき1回のみとなります。

◆ 有料掲載：1/8頁 ¥2,500、1/4頁 ¥5,000、1/2頁 ¥10,000、1頁 ¥20,000 (未加盟団体は倍額となります。)

ご希望のサイズで版下原稿を作成してお送り下さい。お送りいただいたデータをそのまま掲載いたします。内容は基本的に自由ですが、事務局が掲載にふさわしくないと判断したものにつきましてはお断りすることがあります。有料掲載と無料掲載の両方をご希望の場合はそれぞれにお申し込み下さい。

カノン発行日	春号 4月10日	夏号 7月10日	秋号 10月10日	冬号 1月10日
原稿〆切	2月28日	5月31日	8月31日	11月30日

神奈川県合唱連盟の今後のイベント予定(2019年3月～2020年1月)

- | | | |
|------------------------------------|-----------------------|--------------------|
| ●第39回神奈川県ジュニア合唱祭 | 2019年 3月26日(火) | 青葉区民文化センター フィリアホール |
| ●第42回全日本おかあさんコーラス神奈川県大会 | 4月20日(土) | やまと芸術文化ホール |
| ●2019年度定時総会 | 5月18日(土) | かながわ県民センターホール |
| ●第62回神奈川県合唱祭(4日間) | 6月 8日(土)・9日(日) | 神奈川県立音楽堂 |
| | 6月22日(土)・23日(日) | 神奈川県立音楽堂 |
| ●第62回神奈川県合唱コンクール | 8月18日(日)・20日(火) | 神奈川県立音楽堂 |
| (第74回関東合唱コンクール神奈川県大会) | | |
| ●第25回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバル | 11月 7日(木) | 横浜みなとみらいホール(大) |
| ●第54回メサイア演奏会(主催：県立音楽堂、協力：神奈川県合唱連盟) | 12月15日(日) | 神奈川県立音楽堂 |
| ●第22回かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト | 2020年 1月11日(土)・12日(日) | やまと芸術文化ホール |

編集後記：この1年はことのほか時間のたつのが早かったように感じます。災害もたくさんありました。いろいろなことに感謝して今を100%燃焼させたいものです。(編集長 青山 道代)

神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon(カノン)」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会
発行責任者 志澤 彰 編集責任者：青山 道代

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021

横浜市中区日本大通 15 横浜朝日会館 4 階

TEL：045-681-6033 FAX：045-662-5119

スタッフ常駐：平日：月火木金（休祝日を除く）12:00～16:00

URL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>

e-mail アドレス kanagawakenren@nifty.com

